

【 1 】 大正・昭和期の経済について述べた、Ⅰ～Ⅲの文について問いに答えよ。(思考・判断・表現)

- Ⅰ 世界的な船舶不足のために、海運業・造船業は空前の好況となり、日本はイギリス・アメリカにつぐ a 世界第3位の海運国となり、いわゆる ( A ) が続々と生まれた。
- Ⅱ b 金解禁を実施したちょうどその頃、( B ) のウォール街で始まった株価暴落が世界恐慌に発展していったため、金解禁による不況とあわせて二重の打撃を受け、c 日本は深刻な恐慌状態におちいった。
- Ⅲ 議会で d 震災手形の処理法案を審議する課程で、e 若槻礼次郎内閣の蔵相の失言から、一部の銀行の不良な経営状態が暴かれ、ついに ( C ) 騒ぎがおこって銀行の休業が続出した。

問 1 Ⅰの説明文について、以下の問いに答えよ。

- (1) Ⅰの背景にある世界的な出来事を答えよ。
- (2) 下線部 a に関連し、1885年に三菱会社と共同運輸会社との合併によって設立した汽船会社と、その設立者を答えよ。
- (3) (A) に当てはまる、造船・海運業で巨利を得て蓄財した人を表す言葉を答えよ。
- (4) Ⅰの時期の出来事について正しいものを次から選び、記号で答えよ。
- ア. イギリスから薬品・染料・肥料などの輸入がとだえたため、化学工業が勃興した。
- イ. 大規模な水力発電事業が展開され、猪苗代湖・東京間の長距離送電も成功した。
- ウ. 鉄鋼の国産化をめざし、背後に筑豊炭田をひかえる北九州に、官営八幡製鉄所を設立した。
- エ. 「投資が投資を呼ぶ」といわれる大規模な設備投資が、経済成長を牽引した。

問 2 Ⅱの説明文について、以下の問いに答えよ。

- (1) 下線部 b を実施した首相を答えよ。
- (2) (B) に当てはまる都市名を答えよ。
- (3) 下線部 c について、その状況として誤っているものを次から選び、記号で答えよ
- ア. 米をはじめ各種農産物の価格が暴落した。
- イ. アメリカへの生糸輸出は激減し、繭価が大きく下落した。
- ウ. 東北地方を中心に農家の困窮は著しく、欠食児童や女子の身売りが続出した。
- エ. 米の投機的買占めが横行して米価が急騰した。

問 3 Ⅲの説明文について、以下の問いに答えよ。

- (1) 下線部 d が起きた年月日を西暦で答えよ。
- (2) (C) に当てはまる、預金引き出しのために預金者が殺到することを意味する語句を答えよ。
- (3) 下線部 e は、台湾銀行救済の緊急勅令を枢密院で承認されずに総辞職することとなった。この内閣と枢密院の対立について、政府の外交方針を踏まえて40字以内で説明せよ。

問 4 Ⅱ、Ⅲ発生時の大蔵大臣の組み合わせとして正しいものを次から選び、記号で答えよ。

- ア. Ⅱ－高橋是清 Ⅲ－井上準之助 イ. Ⅱ－片岡直温 Ⅲ－馬場錠一  
ウ. Ⅱ－井上準之助 Ⅲ－片岡直温 エ. Ⅱ－馬場錠一 Ⅲ－高橋是清

問 5 Ⅰ～Ⅲを、古い順に並べたものを選び、記号で答えよ。

- ア. Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ イ. Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ウ. Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ エ. Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ

【2】昭和期に起こった3つの事件について、発生当時の首相や事件の影響を調べてカードにまとめ、資料を集めた。これについて、以下の設問に答えよ。(思考・判断・表現)

[カード①]【I】首相  
憲政会、立憲民政党総裁として2回組閣をする。a いずれも急遽<sup>きゅうきよ</sup>総裁となり組閣。

[カード②]【II】首相  
海軍大将。前内閣から「挙国一致」内閣を継承。在任中に、国体明徴問題が起さる。

[カード③]【III】首相  
護憲運動の中心的政治家。立憲政友会総裁として首相に。b 「憲政の神様」と呼ばれる。

[カード④]【A】事件の影響  
青年将校らは反乱軍として鎮圧される。陸軍の政治的発言力が強まり後継の c 広田内閣は陸軍の要求を受け入れる。

[カード⑤]【B】事件の影響  
良識派とされた斎藤実海軍大将が首相となり、「挙国一致」内閣を構成。これにより、d 「憲政の常道」が終わる。

[カード⑥]【C】事件の影響  
内閣は「不拡大の方針」をとるも関東軍はこれを無視し、e 傀儡国家を建設。国際連盟は調査団を派遣する。

[写真]



[新聞記事]



[史料]



問 1 [カード①～⑥]について、事件発生当時の首相と事件の組み合わせとして正しいものを次から選び、記号で答えよ。

- ア. ①-④ ②-⑤ ③-⑥    イ. ①-④ ②-⑥ ③-⑤    ウ. ①-⑤ ②-④ ③-⑥  
エ. ①-⑤ ②-⑥ ③-④    オ. ①-⑥ ②-④ ③-⑤    カ. ①-⑥ ②-⑤ ③-④

問 2 [写真]が伝える事件を[カード④～⑥]のA～Cから選び、記号で答えよ。

問 3 [新聞記事]が絶命と伝えている首相を[カード①～③]のI～IIIから選び、記号で答えよ。

問 4 [史料]が出された事件について、[カード④～⑥]のA～Cから選び、記号で答えよ。

問 5 [カード①]の下線部 a について、1回目の組閣は、普通選挙法を成立させた前内閣の首相が議会内で倒れ数日後に死去したためであった。この前内閣の首相を答えよ。

問 6 [カード③]の下線部 b について、同じくこのように呼ばれる政治家で、第一次大隈内閣の文部大臣として、いわゆる「共和演説」をおこなった人物を答えよ。

問 7 [カード④]の下線部 c について、護憲運動によって削除された規定を復活させた制度を答えよ。

問 8 [カード⑤]の下線部 d について、正しいものを次から記号で選び答えよ。

- ア. 陸軍が陸相候補を推薦しなかったため、組閣できない事態が起こった。  
イ. 衆議院で多数の議席を占める政党が内閣を担当した。  
ウ. 国会議員の首班指名により、首相が指名された。  
エ. 選挙の結果により、元老が組閣の大命を下した。

問 9 [カード⑥]の下線部 e に執政として迎えた人物を答えよ。

解答

## 【1】

問1 (1) 第一次世界大戦 (2) 会社：日本郵船会社 設立者：岩崎弥太郎

(3) 船成金 (4) イ

問2 (1) 浜口雄幸 (2) ニューヨーク (3) エ

問3 (1) 1923年9月1日 (2) 取付

(3) 枢密院は、幣原外相が進めた協調外交を軟弱だと非難し、若槻内閣と対立した。(36字)

問4 ウ

問5 エ

問1 (2) は各1点、問3 (3) は3点、その他1点 計15点

## 【2】

問1 オ 問2 C 問3 III 問4 A 問5 加藤高明 問6 尾崎行雄

問7 軍部大臣現役武官制 問8 イ 問9 溥儀

問8は2点、その他1点 計10点